



はにゅうしりつとしよかん

### 【おつきみ】

#### 「ねこまるせんせいのおつきみ」

押川理佐/作 世界文化社 E/ネ

ある日、おつきみのためのおだんごをつくって  
 いたねこまる先生は、おだんごを飲み込むと、こうちゃんと一緒に空高く飛ばされてしまっ…。



#### 「おつきみパーティーまんまるまんまる」

すとうあさえ/文 ほるぷ出版 E/オ

お料理するのが大好きなママさんが、あつくん、かよちゃんとおつきみパーティーをすることに。色々なおいしいおつきみごはんのレシピをご紹介します。



#### 「おつきみセブン」

もとしいづみ/作 世界文化社 E/セ

十五夜の日にやってきた「おつきみセブン」。子どもたちと作ったおつきみだんごを月にお供えして、みんなで月が出てくるのを待っていました…。



#### 「おつきみおばけ」

せなけいこ/作 ポプラ社 E/オ

森の中に小さなおばけがいました。おつきみの夜、泣いている小さなうさぎちゃんをなぐさめようと、親切なおばけちゃんは、おだんごにばけますが…。



#### 「まんまるいけのおつきみ」

かとうまふみ/作 講談社 E/マ

まんまるいけの底深く、なまずのぼんたがおりました。かめのおじいさんからおつきみの話を聞いたぼんたは興味しんしん。でも、池には不思議な言い伝えがあっ…。



#### 「おつきみどろぼう」

ねぎしれいこ/作 世界文化社 E/オ

十五夜に、動物たちがお供えたおだんごをこっそり食べ歩くおばあさん。「自分の作ったおだんごは誰も食べない」と言う狼に、おばあさんはおだんご作りを教えはじめ…。



### 【おつきさま】

#### 「おつきさまこんばんは」

林明子/作 福音館書店 E/オ

おつきさま、お月さまのいない夜空はどんなでしょう。雲さんにじゃまされても、はやく明るい笑顔のをぞかせて。まんまる、にっこりおつきさま。



#### 「おつきさまなにみてる」

なかじまかおり/作 岩崎書店 E/オ

おつきさまが、寝ている子犬や小鳥を見ている。おっと！子猫が飛び出してきました。おつきさまがここにこ隠しそうです。何をみているのでしょうか？



#### 「おつきさまのおさんぽ」

カワチ・レン/作 学研プラス E/オ

おつきさまが地上に降りてきて街をおさんぽ。おつきさまが通るたび、街のあかりが増えていく。車庫で寝ていた電車たちは起きて走り出し…。



#### 「おつきさまこっちむいて」

片山令子/文 福音館書店 E/オ

少年がいろんな形のおつきさまといろんなところであっちをむいてみた三日月が、だんだんこっちを向いてくる…。



#### 「くまくとつき」

中川ひろたか/文 自由国民社 E/オ

9月はあなたにとって特別な月！日ごとに涼しくなり、小さな秋をあじわえる9月。おつきさまが大好きなくまくんは、満月の夜に、ベッドから起き出すと…。



#### 「おつきさまとあそんだよる」

神山ますみ/作 講談社 E/オ

夕暮れ時、みんなが帰ってしまった公園で、くまの子をじっと見つめているおつきさま。そこでくまの子とおつきさまは、もう少しだけ一緒に遊ぶことに…。



#### 「じっちゃんとおつきさま」

かとうあじゆ/作 文溪堂 E/ジ

おつきみ日、「おたのしみのみ」を作り、公園へ出かけたじっちゃんたち。でき上がったおたのしみのみを持って、おつきみ会へ向かうと…。



#### 「ねえ、おつきさまどうしてぼくについてくるの？」

きむらゆういち/作 教育画劇 E/ネ

ツキノワ3きょうだいが空を見上げると、そこにはおつきさまが。おつきさまはどこまで行ってもついてきます。なぜなのでしょう？

